

役員所感

副理事長 福田龍造

一昨年の政権交代から経済政策「アベノミクス」や、2020年のオリンピック東京開催も決定など、東日本大震災以降暗い話題が多かった日本経済には久々に明るい兆しが見えます。この地域に目を向けると、本年は高田開府400年、当LOMでは創立50周年を迎えます。この節目の機会に近未来の地域の理想像を考え、その実現に向けた運動をいち早く起こしていくことが更なるこの地域の発展に繋がってくるものと考えております。

そのためにはまず足元をしっかりと見つめ直す必要があると考えます。何故JCが上越に存在しているのか。我々がこの地で運動しているのは何故なのか。創始の想いをメンバー一人ひとりが理解し、50年に渡り当LOMが運動する中で築き上げてきた地域とのパイプや信頼関係を更に深化していけるよう、これまでの経験を活かしてサポートをしてまいります。また、スピードを早める社会の変化に柔軟に対応し、地域間競争を切り抜けていくため、この地域の現状をしっかりと分析した上で、日本における地域の特性や役割をしっかりと理解し、未来への可能性を探り、様々な視点を持って描いた理想像に向けて青年らしい大胆な発想をもって大きなインパクトを与えられるような運動を展開出来るように尽力します。そして、その運動の過程で我々JAYCEE一人ひとりが成長するために、それぞれのポジションや責任を明確に認識し、他人任せになることの無いよう、効率的かつ効果的な行動が起こせるように注力いたします。会員の資質を高めることでLOMとしての総合力を押し上げ、未来への礎を創ることが出来るように務めてまいります。

明るい豊かな社会の実現を標榜する団体として、責任世代であるという自覚のもと、住みやすい、潤いのある、魅力あるまち上越を創造していくことが我々に科された使命であると捉え、愛する故郷の発展のために副理事長としての職務を全うしていく所存です。